

多様なステークホルダーが 語り合う地域の未来像：

富士山におけるフューチャー・ デザインワークショップの実践報告

三ツ井聡美（筑波大学）

勝俣俊二（一般社団法人カノエサル）

松山美恵（山梨県富士山科学研究所）

佐伯弘美（NPO法人富士山クラブ）

瀧口千恵子（山梨県富士山科学研究所）

安田泰輔（山梨県富士山科学研究所）

織 朱實（上智大学）

中川善典（上智大学）



富士山を考えるWS：背景



富士山をめぐる課題

- 五合目以上への観光客の集中
- 御来光や登頂目的の登山利用の定型化
- 登山鉄道の議論



危惧

- 富士山の自然や文化の魅力が伝わっていない
- 話し合いが不十分な中で富士山のみらいが決まりそうな状況への不安感



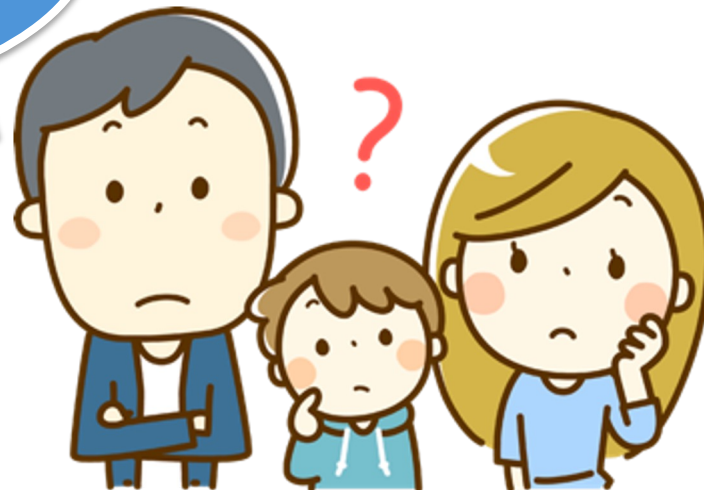
2023年6月打ち合わせの様子

ステークホルダーを集めて話し合いが必要だ！

富士山を考えるWS：目的

多様な立場の関係者が、様々な観点から「これからの富士山」について、フラットに対話を行い、より良い「未来の富士山」にむけて、できることを考える。

今まで、色々な立場の人が
同じ場所に対話する機会、
なかったよね



もっと、色々な
人の話も聞いて
みたいわ

富士山を考えるWS : 3つのフェーズとこれまでの活動

主催：一般社団法人カノエサル

富士山吉田口登山道の新しい観光&環境のありかたを
みんなで考えるワークショップ

1st 富士山を考える会

2023.10.30 Mon
16:00 - 19:00

場所：富士吉田市中村会館

1st 富士山ワークショップ MAP

What's?
麓から頂上までつづく吉田口登山道。
その魅力は果たして伝わっているのか？
登山道の価値を再考し、
持続的な活用方法と魅力を発信して
地域を盛り上げる新しい富士山の
観光&環境のあり方をみんなで本気で考えます！

お問合せ メール：info@kanoesaru.jp TEL: 080-1265-8382(一般社団法人カノエサル代表)

FUTURE MT. FUJI

2nd 富士山を考える会
Future Design Workshop

2024.2.9 Fri
16:00-19:00

場所：富士研修所

フューチャーデザインワークショップ

What's? 今回のお題は「富士登山道の未来」
30年後の未来の富士山、富士登山道の姿が見えてくる！
未来人になりきって現代人にメッセージを送る
「フューチャーデザイン・ワークショップ」に挑戦します！
目の前の課題解決にこんな手法があるなんて！

富士山の観光&環境のあり方を本気で考える
ワークショップ第2弾！

◆ファシリテーター
織 朱實氏 (上智大学大学院地球環境学研究所)

主催：一般社団法人カノエサル
協力：中川善典氏 (上智大学大学院地球環境学研究所)
一般財団法人人材開発センター富士研修所

お問合せ・申込み メール：info@kanoesaru.jp 電話：080-1265-8382 (勝俣)



第3回富士山を考える会
Meeting to think about Mt. Fuji

私たちがこの美しい山を
未来につなぐことが出来るだろうか

第三回
富士山を考える会

第1回「富士山吉田口登山道の新しい観光&環境のありかたをみんなで考えるワークショップ」
第2回「富士登山道の未来・フューチャーデザインワークショップ」の2回を経て見えてきた、
富士山の未来への願いと、目の前にある多くの課題

第3回では、願いをカタチにするために、すべてのステークホルダーが本気で知恵を出し合う
ワークショップを開催します。

2024
5.14 16:00▶19:00

富士吉田市民会館 3階
会議室1&2

ファシリテーター 織 朱實氏
(上智大学大学院地球環境学研究所)

お問い合わせ Mail : info@kanoesaru.jp TEL : 080-1265-8382 担当 勝俣

① 空間的な多様性：空間軸

いろいろな場所で、富士山に関わっている人のそれぞれの悩み、関心事を共有しよう

② 時間的な多様性：時間軸

直面している現代だけで考えるのではなく、「将来」という視点からも、考えてみよう

③ アクションの具体化

様々視点からの対話の結果、誰が何をすればいい？
タスクの洗い出しと優先順位付け

2023.10.30 16:00-19:00

第1回 富士山吉田口登山道の新しい観光と環境のあり方をみんなで考えるWS

- 普段の活動場所に応じて、麓から山域の標高ごとの多様な関係者が集まったグループを作成
- 空間の多様性を意識しつつ、富士山の魅力や課題の共有をおこなった



多様なステークホルダーへ参加を呼びかけた。
メディアにも取材に入ってもらい、記事になった。

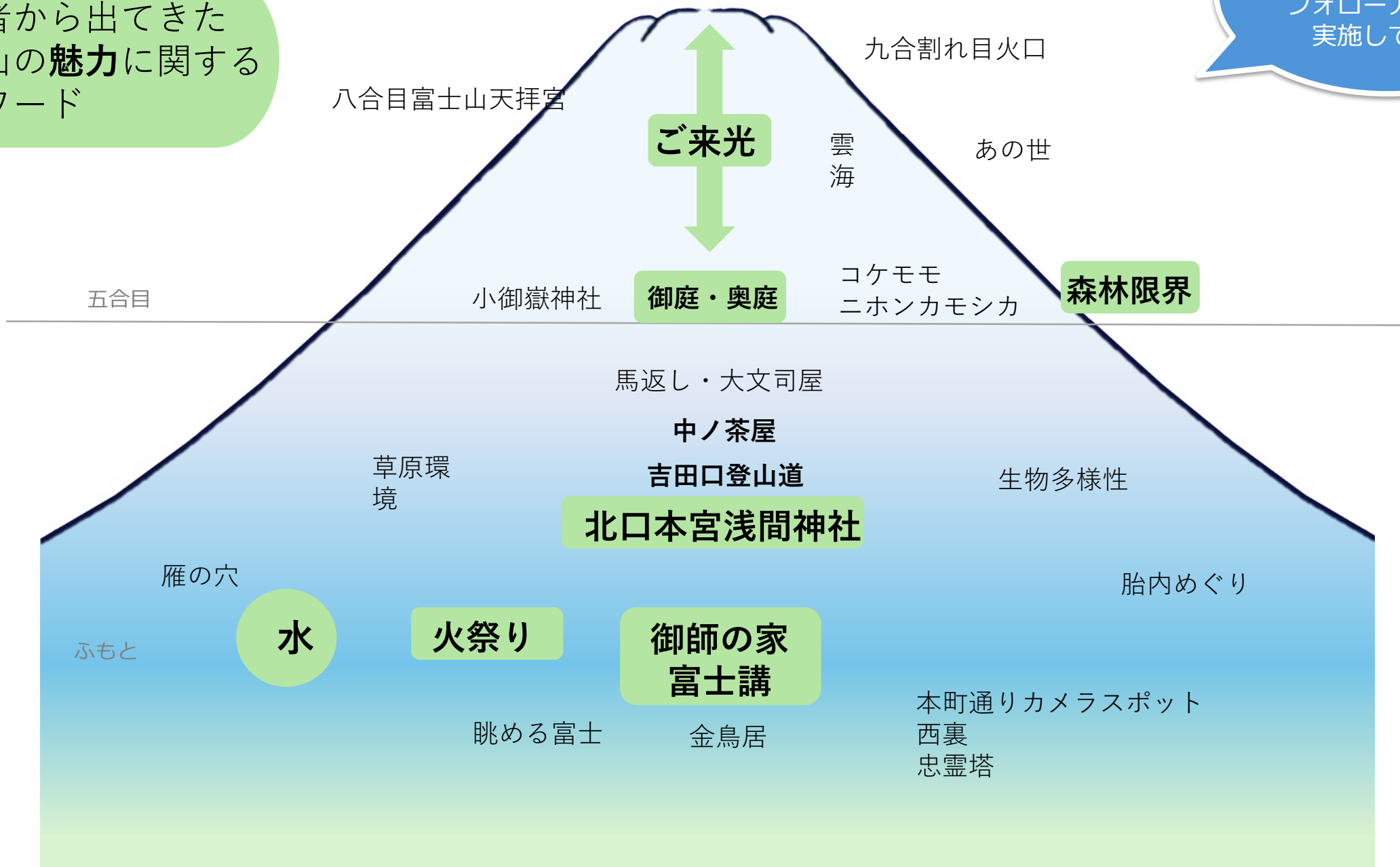
このとき、
行政はまだ
参加せず



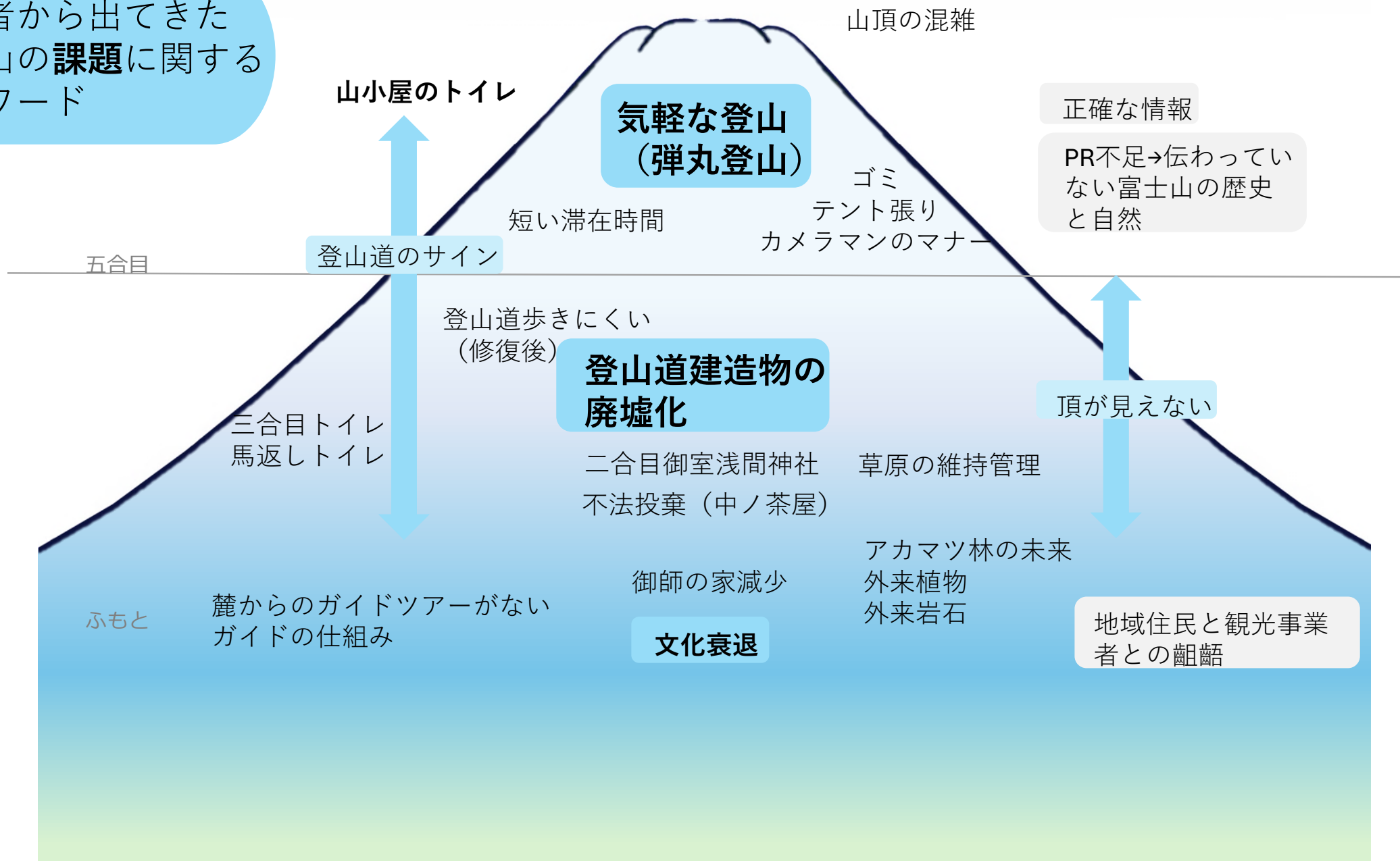
25名が集まり、3班に分かれて話し合いを行った

参加者から出てきた
富士山の**魅力**に関する
キーワード

WSのあとは、
研究者らによる
フォローアップを
実施している



参加者から出てきた
富士山の**課題**に関する
キーワード



2024.2.9 16:00-19:00

第2回 富士登山道の未来・フューチャーデザインWS

- 流れ：パストデザイン、紙芝居視聴、班ごとにFD実施、全体に向けて発表・共有。
- FD：30年後の2054年を生きる将来人になりきり、「富士山を取り巻く状況がどのようになっている、あなたはどのように幸せを求めながら暮らしているのか」を話し合った。
- 話し合いのキーワードを書いた付箋を見ながらストーリーを整理し、2024年を生きる人々へに向けた提言をまとめた。

山小屋、ガイド、観光業、NPO、研究者、恩賜林、市役所など37名が参加



市役所の職員も複数参加

リハーサルのプレFD

- 本番のFDを前に、オンラインでプレFDを実施
- 参加者は運営メンバー7人+WS参加予定者7人
- 本番でグループが多くなることが予想されたため、話し合いが円滑に進むようにFD経験者を増やした
- パストデザインとして60年前の新聞を活用
- FDでは、30年後、富士登山がどうなっていて、あなたはどうか関わっているのか、2024年へのメッセージを話した



噴火、鉄道の有無などの前提条件で話が左右されることに戸惑った

楽しい!

興味深い施策のアイデアが出た

現実的ではないテクノロジー頼みの未来

なかなか未来人になりきれない人も...

本番のWSの様子

- 多様なステークホルダーが混ざるように班分けし、6班に分かれて実施。
- 各班にプレFDの経験者と、運営メンバーを黒子として配置した。
 - 黒子は、2024年の出来事は過去形にするよう都度指摘
- FDを始めるときは、部屋を暗くして、未来へワープするイメージの効果音を流し、意識づけを行った。

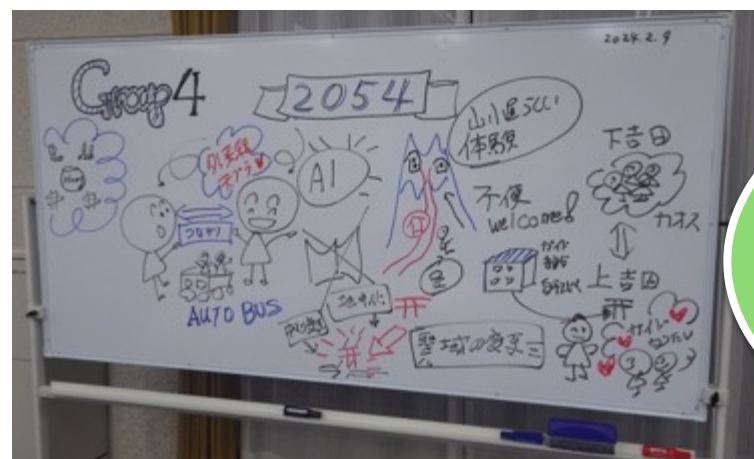


ポスターも未来
っぽさを演出



WSの様子

- 話し合いの最中、参加者は話に集中。付箋へのメモは黒子が行った。
- 班ごとに未来のストーリーを整理し、2024年へのメッセージを提示。
- 全体に向けて発表を行った。その際に、織先生がその場でグラフィックレコーディングを実施。
- WS終了後、運営メンバーによる話し合いの内容を整理するフォローアップを実施



利害関係者が、がんじがらめ
になっている中、
自由な議論ができた。
FDでは、しがらみが消えた。

第2回富士山を考える会

Future Design Workshop-Group1

2054年の未来

インフラ全滅

莫大にかかる復興費をあきらめ、そのままの姿に。

すべての登山道崩壊

スバルライン崩壊

山での営業権利を失う

廃業してしまう人も

関係者

麓での商売に切り替える

信仰に重点を置く

富士山噴火

誰も入山できず、神職しか入山できない

浅間神社が東西南北を管理

登る山から拝む山へ

街にお金を落とす観光客が増える

超環境特区

富士山庁が誕生

超環境特区外で、拝む場所が増える

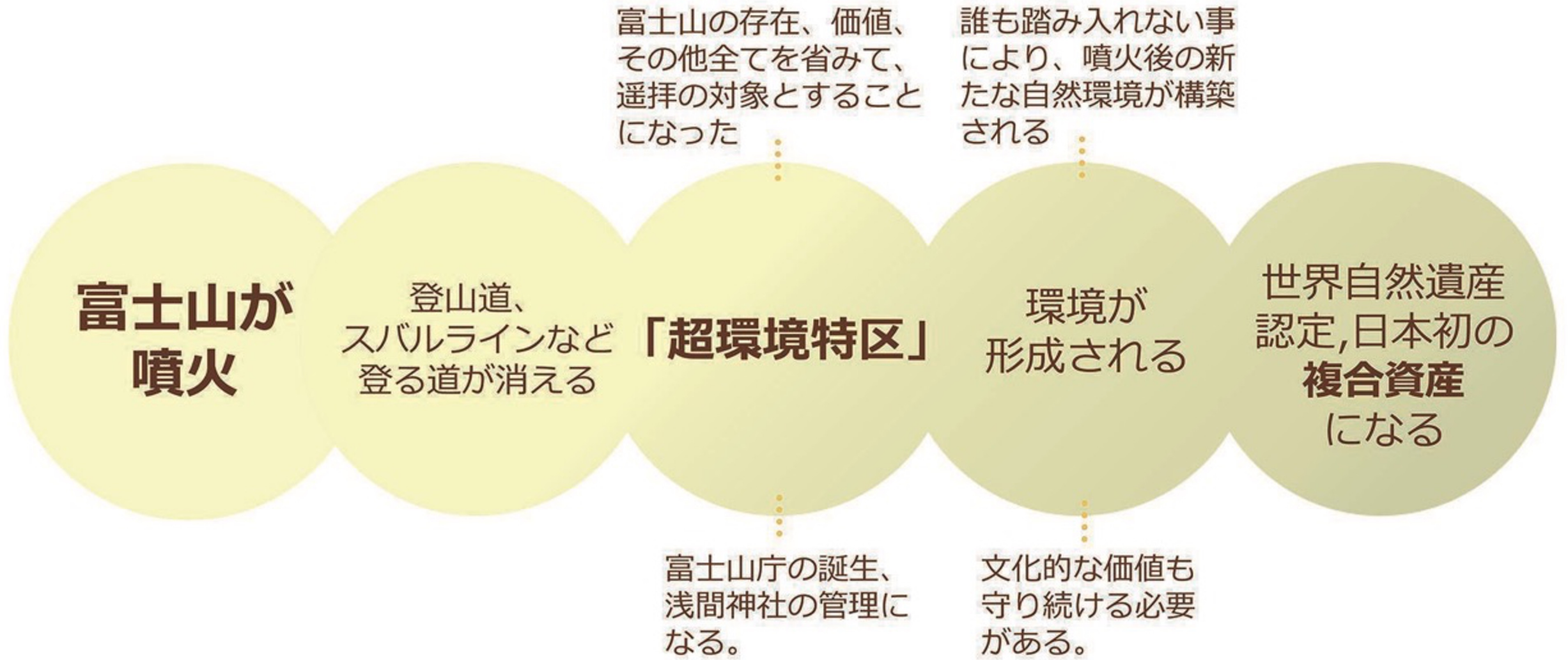
観光、信仰

噴火後の自然が維持される

**世界自然遺産に登録！
文化遺産と自然遺産の
複合資産登録へ！**

眺めることが最善の観光へと変化

Group1 2054年の未来ストーリー



—— 富士山が噴火して環境や生活が一変しても生き抜ける術を考えよう ——

第2回富士山を考える会 Future Design Workshop-Group2

2054年の未来

文化の価値をうまく
保存継承できた

富士山に関わる
人の意識が変化

世界文化遺産の
価値や意義を
世界中の人が認識

訪問客数を制限 希少性売り

登山客の質が向上

自然環境も向上

自然や文化への
理解ある人が来訪

魅力ある登山道

馬返し～五合目の休憩所
お社・三合目山小屋復活

五合目
神社はそのまま
その他の店は地下へ

IT技術が発展

言語の壁なし
仮想空間で
富士登山体験

災害時用アプリ普及
リアルタイムで溶岩の
流れがわかる

住民の災害対策
備蓄進む

写真撮影で
終わらない観光

本町通り～金鳥居
車の通行禁止

車の代わりに
移動手段が多様化

歩道が広がった

鉄道馬車の復活
自動運転バス
動く歩道

下吉田～上吉田へ
歩く人が増えた

つながる
下吉田～上吉田～登山道～山頂

1本の道ふじみちを
みんなが意識

気候変動

森林限界上昇
閉山が遅くなる

2034年に噴火
避難がうまくできて
被害は最小 → 安心感

富士吉田は
まだ涼しい方

富士吉田の人口
人口減少・空き家増加
寿命が伸びる・90歳定年

↓
移住者増加

中ノ茶屋
周辺が発展

高級住宅地化
世界の著名人が住んでいる

中ノ茶屋まで
つづく道

上下水道完備

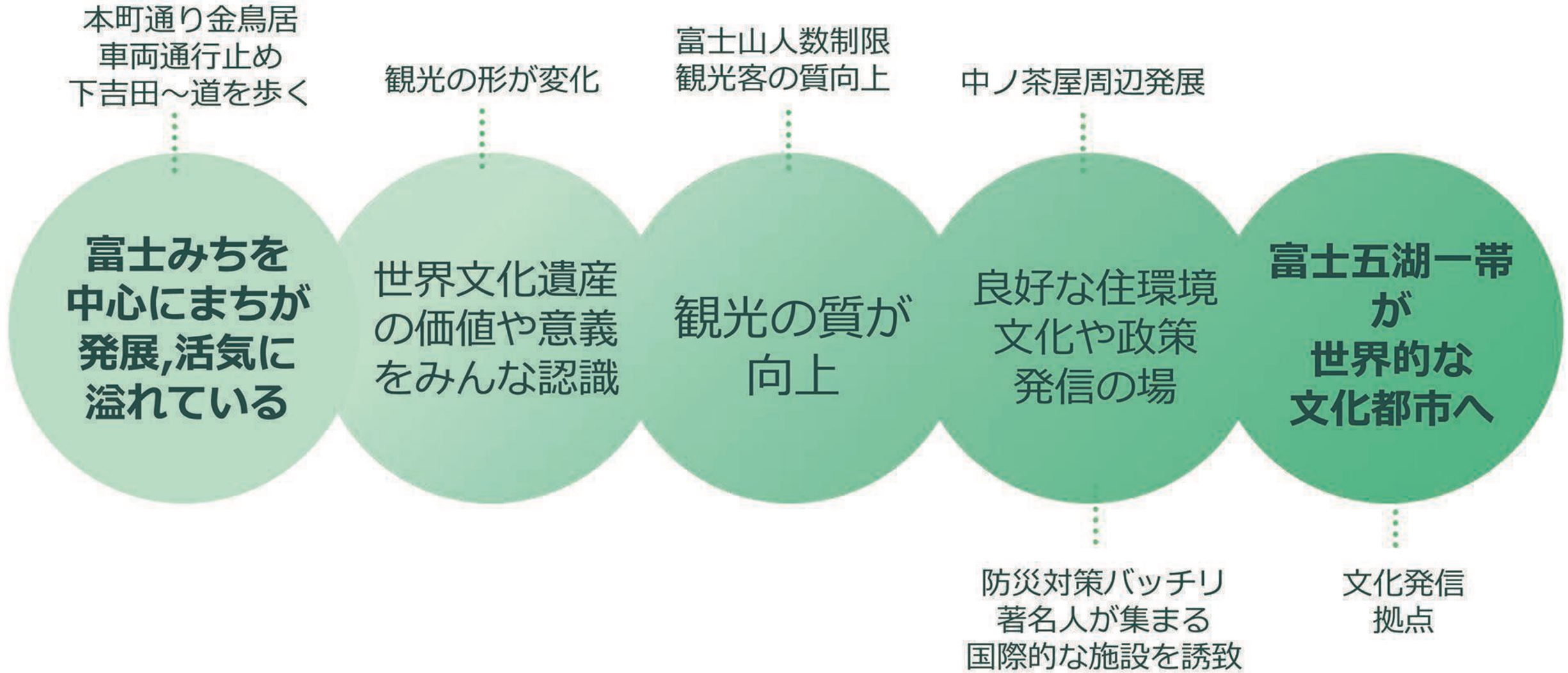
文化やスポーツ
エリアにゾーニング

世界的な文化都市

オペラハウス、
国際会議場、
環境省などを誘致

広域都市富士五湖市
忍野もなんとか合意

Group2 2054年の未来ストーリー



麓から山頂までの「富士みち」をシンボルに、みんなでまちづくりを始めよう

第2回富士山を考える会

Future Design Workshop-Group3

2054年の未来

登山テクノロジーにより安全な登山へ

ドローン・鉄道による交通網の整備により、
山小屋のライフラインが充実、ワイン・シカ
肉提供

高山病対策に加圧ルームが整備
パワードスーツの導入
ウェアラブルの機能の充実

登山道にロードヒーティングやライトが整備

伝統的な登山スタイルがブーム

鉄道やテクノロジーによって登山が安全、
便利になるほど、あえてスマホなし登山
など、昔のスタイルの登山がブームに

英語は自動翻訳が当たり前になり、ガイドには
知識だけでなく、人間としての魅力が評価！

登山スタイルに幅が出てくる

多様な登山スタイルの確立

1合目から登るのがインバウンドに大人気

富士講スタイルのレンタル、
山伏ツアーブームなど

ガイドは1年中働けるようになった

富士山ガイド大儲け

あこがれの職業 第一位！

富士山財団が山全体を管理

富士山財団の設立

4000人制限による経済効果

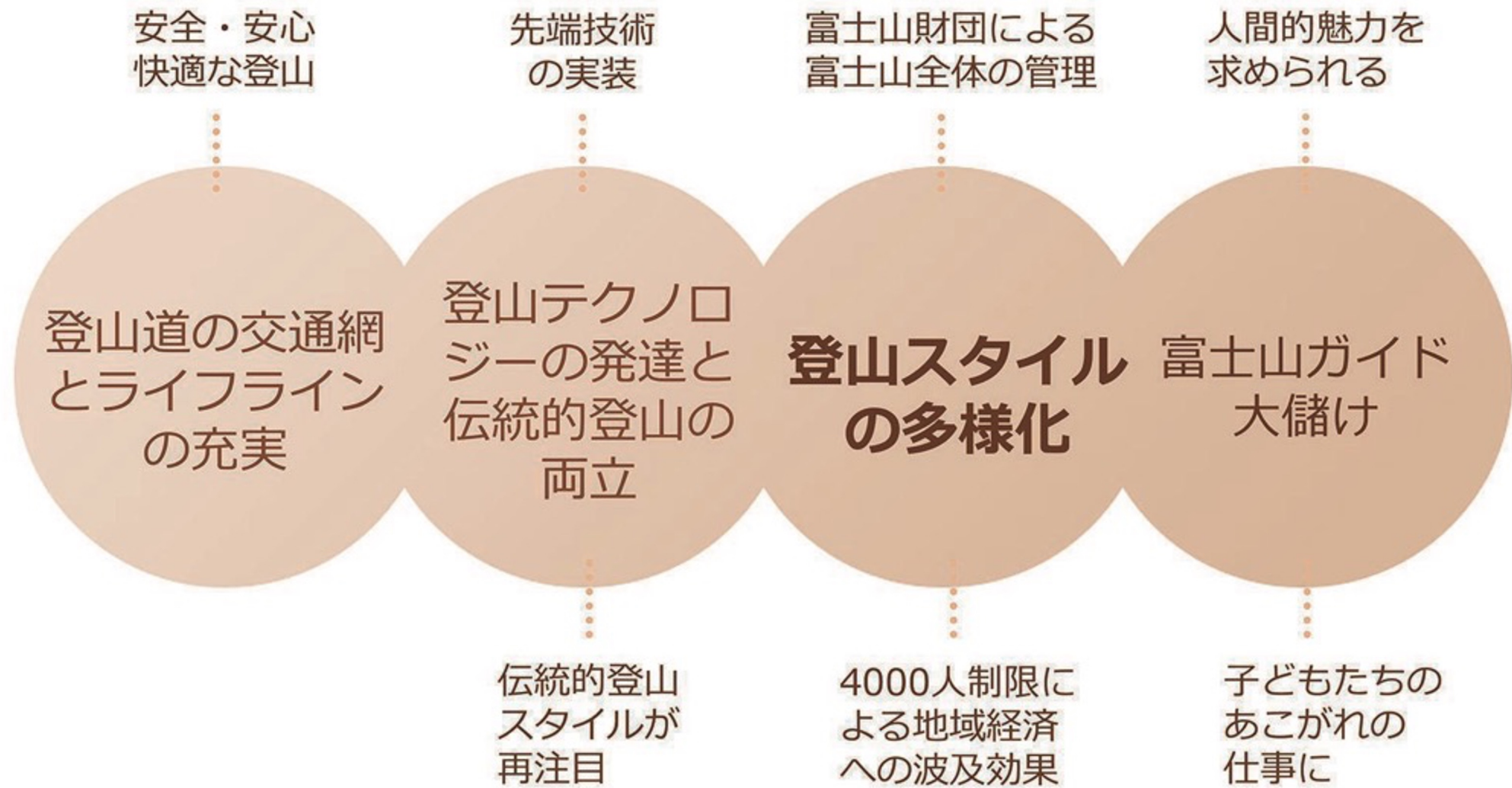
登山できなかった人へ特典付与
・御師の家に宿泊！
・翌日優先的に登山可

登山者の分散により、御師の
町や静岡に登山客増加

馬肉、シカ肉入り
馬鹿うどんが大ヒット！
ひばりが丘高校うどん部発信

シカ増えすぎ問題

Group3 2054年の未来ストーリー

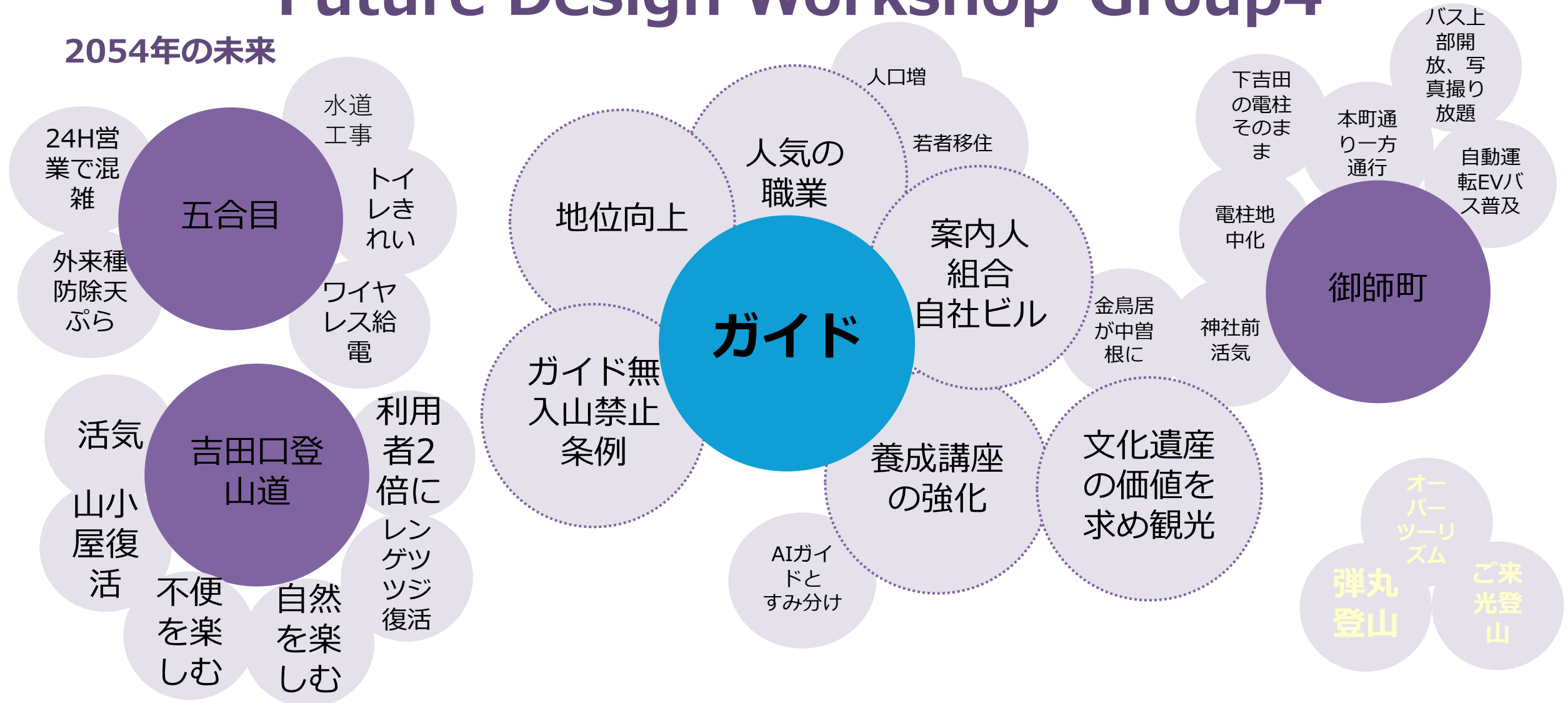


富士山の自然、昔からの信仰、登山文化を国際的重要資源として、その価値の向上をはかろう

第2回富士山を考える会

Future Design Workshop-Group4

2054年の未来



五合目

24H営業で混雑

外来種防除天ぷら

水道工事

トイレきれい

ワイヤレス給電

吉田口登山道

活気

山小屋復活

不便を楽しむ

自然を楽しむ

利用者2倍にレンゲツツジ復活

地位向上

ガイド無入山禁止条例

ガイド

人気の職業

人口増

若者移住

案内人組合 自社ビル

養成講座の強化

AIガイドとすみ分け

文化遺産の価値を求め観光

金鳥居が中曽根に

神社前活気

電柱地中化

下吉田の電柱そのまま

御師町

本町通り一方通行

自動運転EVバス普及

バス上部開放、写真撮り放題

オーバーツーリズム

弾丸登山

ご来光登山

Group4 2054年の未来ストーリー

きっかけは
2024年入山規制
実施成功

ご来光がマスト
ではなくなる
弾丸登山は過去

吉田口登山道
五合目までの
山小屋が続々復活

ガイドの
需要増、地位向上、収入アップ、職
が人気に、地元の子供憧れの職業、
若者ガイド移住者増
案内人組合自社ビル完成

山岳文化都市
ふじよしだ

五合目以上の
オーバー
ツーリズム
解消

ゆっくり
2泊3日
富士登山
人気ที่定着

昔ながらの
登山道が人気に
吉田口の利用者
倍増

2029年
富士吉田
ガイドなし
入山禁止
条例制定

ガイドの存在を中心に
富士吉田が変化していく

登山の
クオリティ向上

復活への動きに追従
する若者も多数あり
動きが加速した

麓から頂上まですべて
のエリアでガイドなし
で登れなくなった

ハイクオリティなガイドの存在を中心にした山岳文化都市として魅力を創出していこう

第2回富士山を考える会

Future Design Workshop-Group5

登山鉄道活用
不十分（雪代
問題）

富士山の絵
が変化

信仰の価値
に気づく

信仰の山

本町通り
歩行者天国

富士みち活性化

温暖化

富士山野菜
ブランド

心の疲れた
人が増加

心の安定

御師の家
の復活！

下吉田からスタート
御師の家に1泊 山小屋に1泊

信仰が中心

海外富士講

ジビエ料理
店

原点回帰

昔の登山

シカの頭数
管理

山小屋快適
パワースーツ

VR登山

日本政府が
応援

国際的認知

インフルエンサー

登山マナー
向上

テクノロジー

富士講や
歴史に詳しい

ベテランガイド

高額

多額の予算
で山小屋整
備

山小屋で働
きたい外国
人

水素バス

寿命が延びた

120歳の登山者

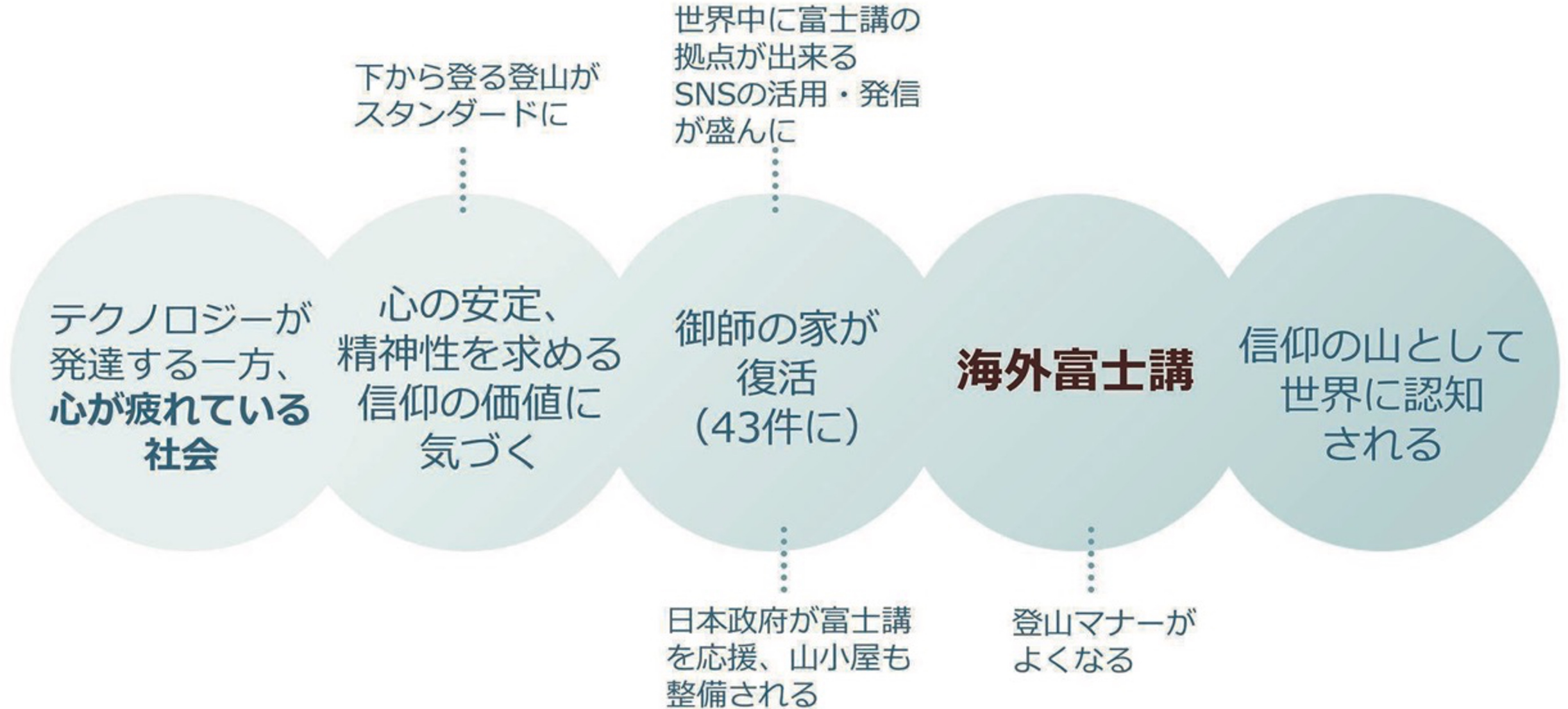
富士急行線、
本数up
スピードup

最先端の下水道
技術

あこがれの職業

2054年の未来

Group5 2054年の未来ストーリー

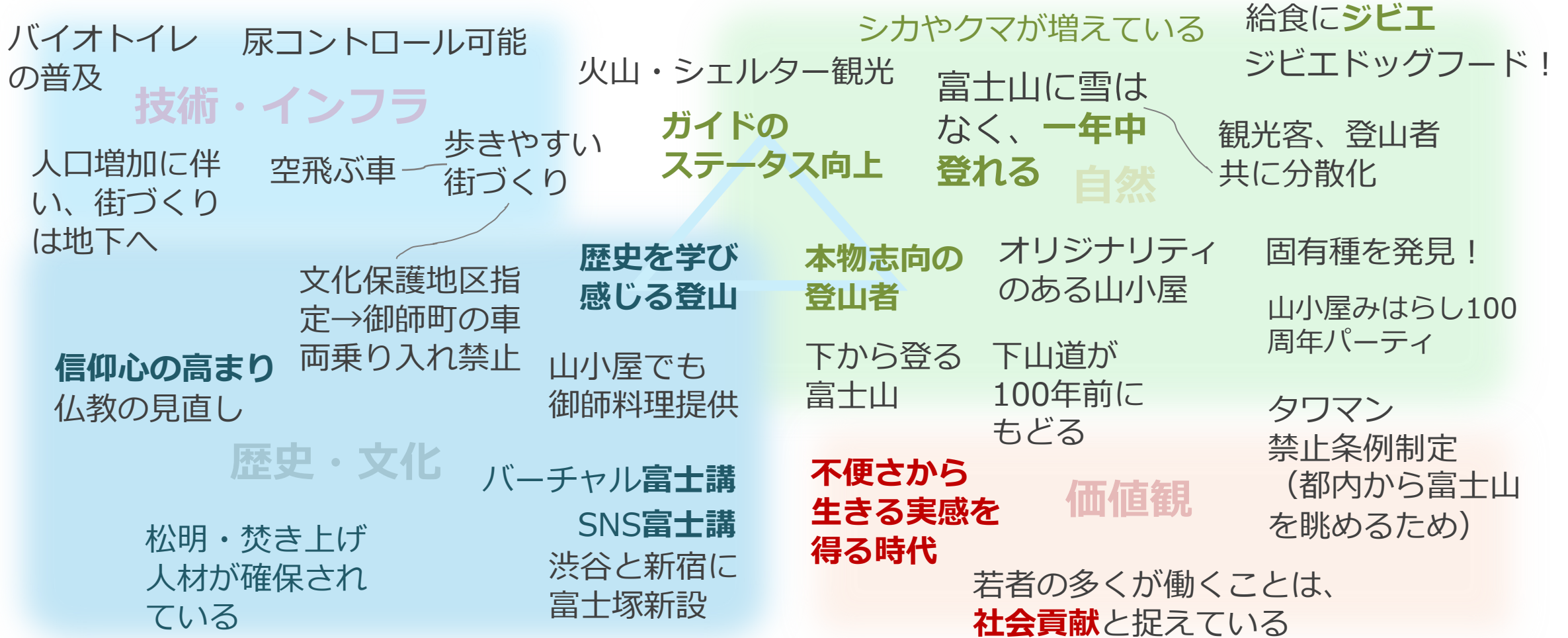


海外富士講の登山者が増加。迎える私たちも信仰の山としての原点に立ち戻ろう

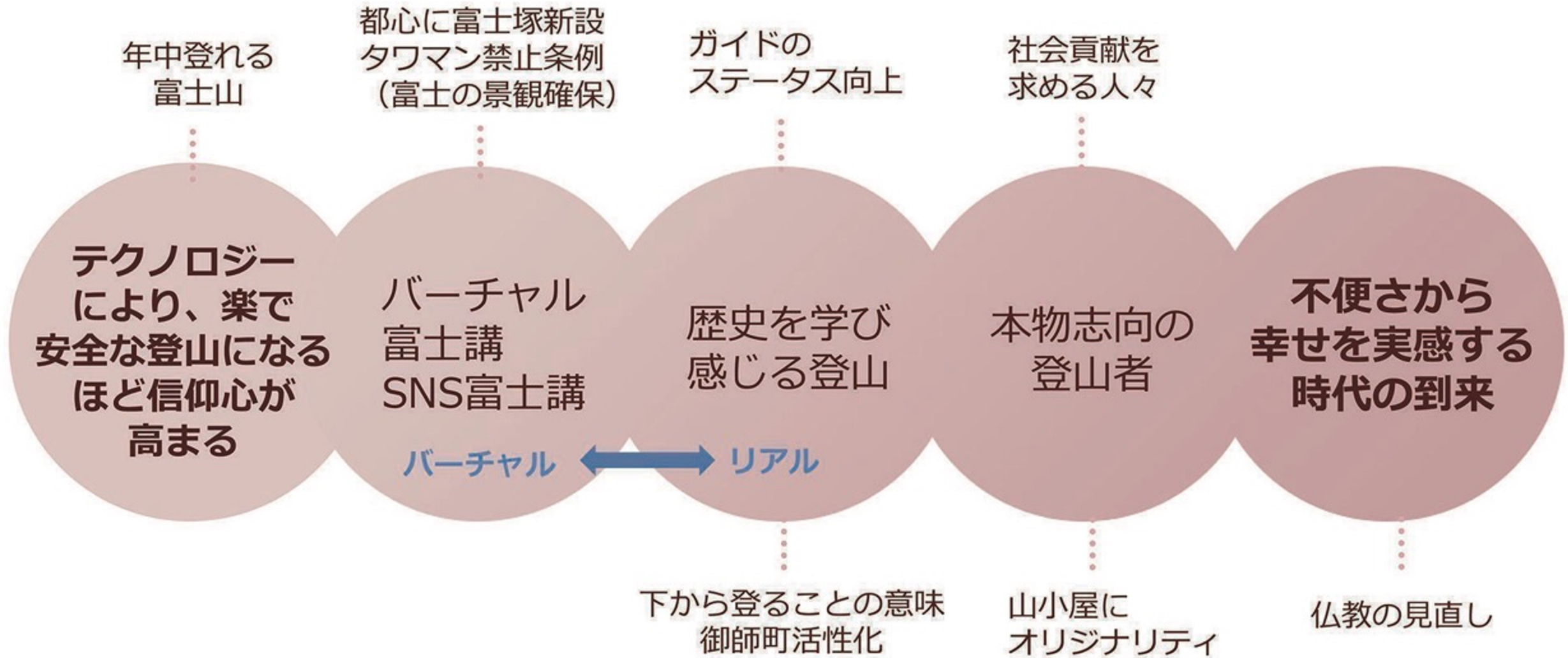
第2回富士山を考える会

Future Design Workshop-Group6

2054年の未来



Group6 2054年の未来ストーリー



将来、再評価される富士山の伝統と文化を次世代にも引き継げる体制をつくろう

FDをやってみて感じたこと

- 未来人になりきるハードル（恥ずかしがる、過去形で話すことになれない）
 - 黒子が指摘し、未来人になりきるのを促した。
 - 未来人、現代人の切り替えを促すため、ポスター、音、照明、映像などの舞台装置で演出する工夫も重要。
- アイデア出しに終始してしまいがち
 - 黒子が質問をはさんで軌道修正した。
- 30年後の未来から今に視点を移すのが難しかった。
- グループ構成の戦略
 - 状況を受け入れやすい方（面白がれる方、リード役）が各班にいると議論が活発化する。
 - 多様な立場の人を混在させたとき、現在のしがらみにとらわれずに話げできた。
- FDは議論が煮詰まったときに有効
 - 今までない手法、出てこないアイデアがでてきた。→ 特に行政の反応が良かった。
 - もっと気軽に未来人になれる機会もあると良い（会議の一部でFDを取り入れる方法論を検討したい）

2024.5.14 16:00-19:00

第3回 富士山を考える会 この富士山を未来につなぐために

- FDで未来にとんだあと、実現性を再考
- FDのアイデアが引き継がれて自然と話題に出てきた
- いまだに未来人感覚！？
- 未来のふわっとした話が実務的な話になってきた

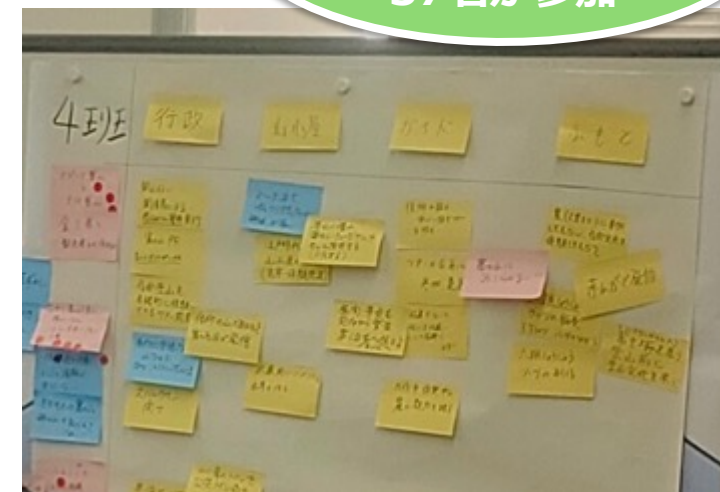


市役所や県庁の
職員らも含め、
37名が参加

- 優先度の高い
タスクの洗い
出し



- 誰が、何をするのか、
課題解決に向けて必
要な行動の洗い出し



これからの展開

- 富士吉田市との連携強化の動き
 - FDでもアイデアが出ていた海外富士講、文化庁の補助金を獲得
 - 登山だけでなく、文化も含めた総合的なガイド力の養成
 - ガイドの組織化・ライセンス化
- 1回未来人を経験した人がたくさんできたことは財産
 - 今後もいろいろな場面で使えそう
- 第4回以降のWS開催
 - 具体的なプロジェクトの実施へ



To Be Continued...



Thank You!